

## 平成30年7月豪雨災害に係る検証について

## ① 検証のポイント

- 西日本を中心に広い範囲における長時間の記録的大雨となったことに加え、ゲリラ豪雨が同時多発的に発生したという、今回の豪雨災害の特徴を踏まえ、県民の命を守るため、今後どのように備えていくかが今回の検証のポイント。

## ② 検証項目（案）

## テーマ1 実効性のある避難・情報提供のあり方

- 大雨特別警報など防災気象情報発表時の対応
- 風水害タイムラインの検証
- 河川水位計の設置、避難情報発令基準（基準水位未設定河川における増水時の対応）の検証
- ダムの異常洪水時防災操作等の対応
- 高齢者、障がい者等災害時要配慮者等への対応
- 多様な情報伝達手段の確保
- 風評被害など観光への影響

## テーマ2 災害応急・復旧対策

- 孤立集落への対応
- 断水時の対応
- 公共交通不通の際の対応
- 災害ボランティアの受入対策
- 災害廃棄物の処理対策

## テーマ3 事前の防災対策

- これまでの防災対策とその効果
- 土砂災害防止対策（流木対策含む）
- ため池決壊・流出対策

## ③ スケジュール（案）

- 第1回検証委員会 【8月3日（金）】  
報告書（案）に対する意見照会（市町村等）
- 第2回検証委員会 【8月下旬】
- 第3回検証委員会（必要に応じ）